

## 臨床研究に関する情報公開（一般向け）

### 「初診時骨転移を認める前立腺癌の予後解析」へご協力をお願い

—2005年1月1日～2025年12月31日までに

当初診時に骨転移を有し当科で治療をうけられた前立腺癌の方へ—

研究機関名：三重大学医学部附属病院

研究責任者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 教授 井上貴博

研究分担者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 准教授 西川晃平

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 講師 佐々木豪

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 景山拓海

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 東真一郎

三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 助教 杉野友亮

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 加藤桃子

三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 助教 西川武友

三重大学医学部附属病院 高度生殖医療センター 助教 大和俊介

三重大学医学部 医学科 学生 杉森彩葉

個人情報管理者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 准教授 西川晃平

#### 1. 研究の概要

1) 研究の意義：本研究で骨転移を有する前立腺癌の骨転移部位別の予後が新規ホルモン剤を初期治療から使うようになって変化しているのか、を知ること、昨今着目されている転移巣への局所治療の初期治療時併用の意義を考えていく上で重要であります。

2) 研究の目的：初診時に骨転移を有する前立腺癌は予後不良ですが、近年強力なホルモン療法が出現してきたことで、予後は徐々に改善されています。前立腺癌の骨転移は静脈還流の経路からおもに脊椎と骨盤骨に転移を来しますが、時に肋骨や頭蓋骨・四肢骨など静脈還流経路とは関係の無い骨に転移を初期から来すことがあります。骨転移部位による予後に差があることは25年程前に論文がでていますが、治療法が進歩した最近の症例の検討はされておりません。本研究では初診時骨転移部位による予後の違いを検討し、初期治療戦略の指針とすることを目的とします。

#### 2. 研究の方法

1) 研究対象者：2005年1月1日～2025年12月31日までに当科において治療を行った遠隔転移を有する前立腺癌のうち初診時に骨転移を有する症例を受けられた患者様

2) 研究期間：許可日より2031年12月31日まで

3) 研究方法：2005~2025年までに三重大学医学部附属病院で治療を行った遠隔転移を有する前立腺癌のうち初診時に骨転移を有する症例の臨床病理学的情報を電子カルテから後ろ向きにデータ収集する観察研究。

4) 使用する試料の項目：該当無し

5) 使用する情報の項目：

- 患者背景情報
- 患者治療情報
- PS
- 生年月（または年齢）、性別、既往歴、併存症、アレルギーの有無
- 胸部単純・造影CT、腹部・骨盤単純・造影CT、MRI、DWIBS、骨シンチ、FDG-PET
- 身体所見
- 身長、体重、血圧、脈拍、体温
- 血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数、好中球数、リンパ球数
- 生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、Na、K、Cl、PSA、LDH、ALP
- 病理組織検査

6) 利用又は提供を開始する予定日：許可日

7) 情報の保存：

研究対象者の個人情報（個人情報を特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、当院のホームページ「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」(<https://mie.bvits.com/rinri/publish.aspx>)で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。

また、近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。また、全世界の研究者が、論文のデータにアクセスできるようにし、研究を行うことがあります（データシェアリングといいます。）。両者とも、個人を特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人を特定されることはありません。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

9) 倫理審査：

三重大学医学部附属病院または医学部・医学系研究科内で行われる全ての臨床研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会で審査され、その意見をもとに病院長または研究科長が許可したのみ実施されます。本研究は、三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会において審査を受け、病院長または研究科長の許可を得ております。

10) 研究資金源及び利益相反：

本研究では奨学寄附金（企業以外）を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

11) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

12) 研究への使用を希望されない場合：

あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学 教授 井上貴博

電話：059-232-1111（平日：9時30分～17時00分）